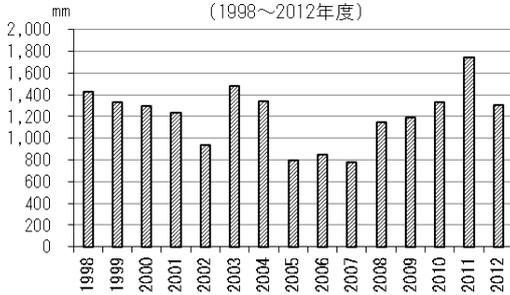


2012年度「トンボの池」の降水量と水深

白木 茂 (自然遊学館わくわくクラブ)

図-1 「トンボの池」年度別降水量
(1998～2012年度)

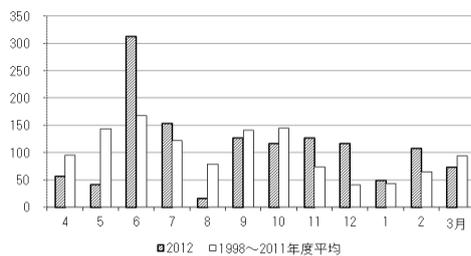


●2012年度の雨の量は、やや多く1,309mmでした

「トンボの池」は雨水のみで維持されており、15年前から転倒柵型雨量計によって毎日の雨量(降水量)を計測し、維持管理の基礎的データとしています。

それによりますと「トンボの池」には、2012年度で、1,309mmの雨が降りました。この値は、過去の年度別平均降水量(1,207mm)よりやや多い値です。

図-2 「トンボの池」月別降水量の比較
(2012年度と過去の平均値)

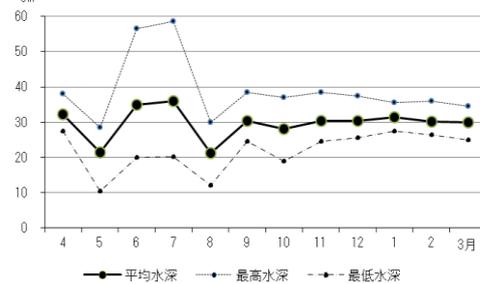


●6月に、例年の2倍近くの雨が降りました

過去の月間降水量の平均と2012年度のそれを比較したのが図-2のグラフです。

例年に比べて4～5月は少なく、また夏の8月はほとんど降雨が無い状況でした。多かったのは6月で、例年の2倍近く、また冬にもたくさんの雨が降りました。

図-3 2012年度「トンボの池」の月別水深



●「トンボの池」の水深の平均は30cmでした

図-3は、「トンボの池」の月別の最高水深(最も深かった水深)、最低水深(最も浅かった水深)、平均水深(日別水深の平均値)を3本の折れ線で示したものです。雨の多かった6月から7月にかけて最高水深は60cmに近づきほぼ満水状態となりましたが、8月の少雨で、渇水状態となったため、8月4日、17日、26日には地下雨水タンクから備蓄雨水を補給し、水深を一時的に30cm台としました。

図-4 「トンボの池」の年度別平均水位(cm)

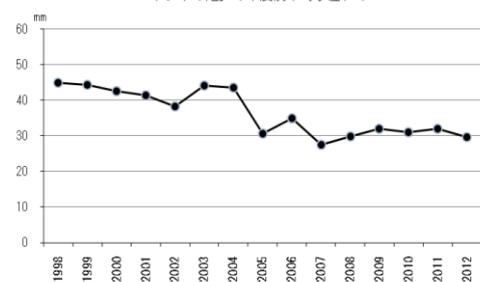
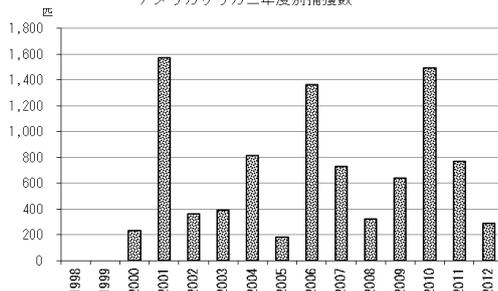


図-4は、年度別の平均水位の変化です。2007年度までは、年間降水量とよく似た変化が見られましたが、その後は、ほぼ30cmで推移し、多雨を記録した2011年度も大幅な増加は見られません。図-3と4から、水深30cm以上の側壁からの漏水が考えられ、平均水位を当初の40cm台とするには抜本的な池の改修が必要と思われます。

図-5 アメリカザリガニ年度別捕獲数



●アメリカザリガニの捕獲は290匹でした

アメリカザリガニはトンボの天敵です。

図-5のように2012年度の捕獲数は少数でしたが、4～5年周期で大発生しています。油断はできません。